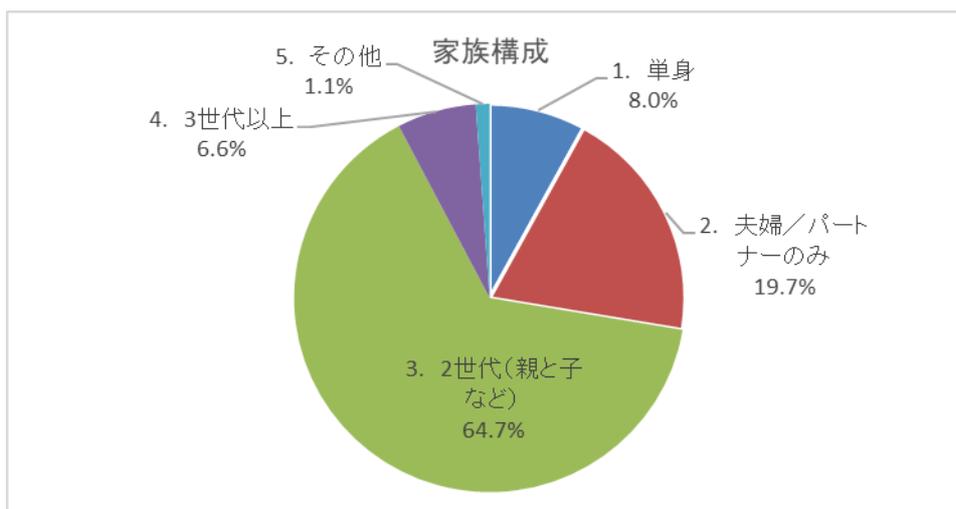
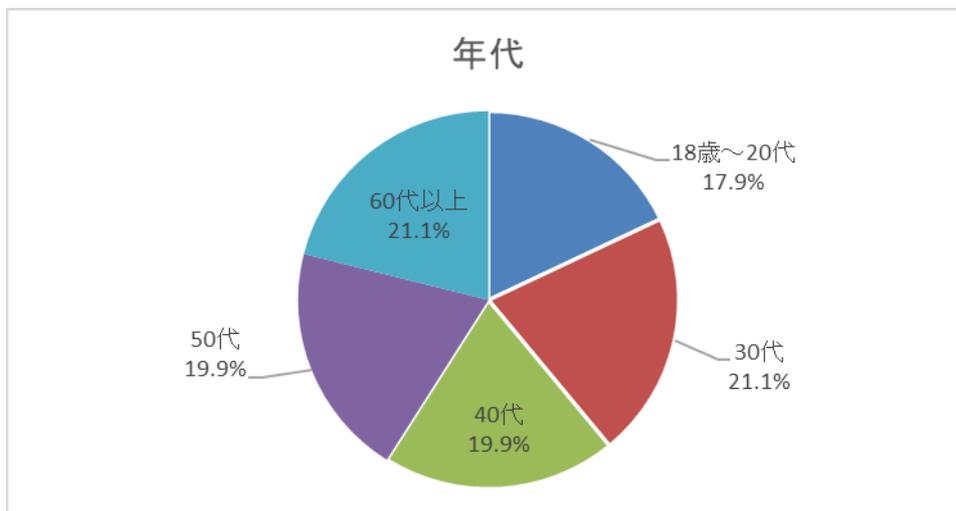
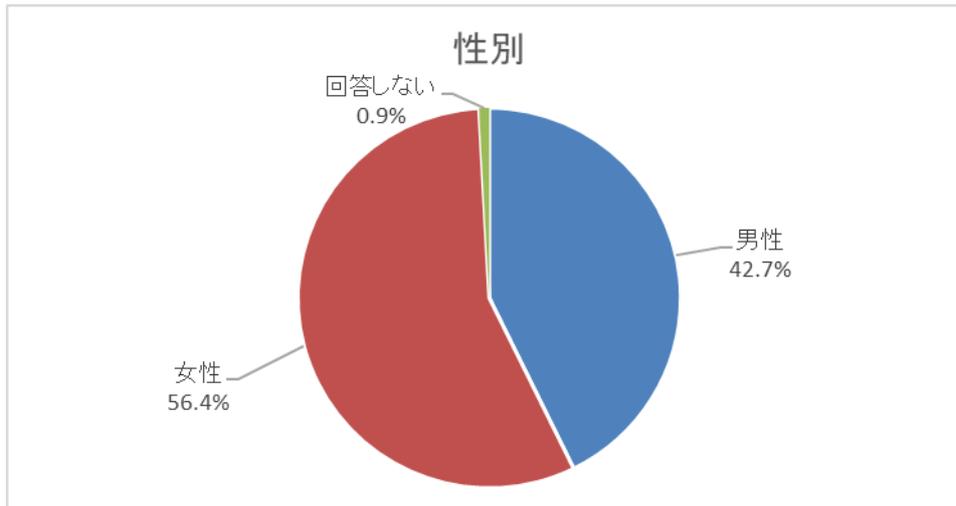


令和6年度 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

テーマ 「避難所・備蓄品等に関するアンケート調査」
調査期間 令和6年6月3日（月）～令和6年6月17日（月）
回答者数 351人
対象モニター数 400人
回答率 87.8%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【属性】



概 要

1. 災害が発生した際に、家族で避難する場所や集まる場所などについて事前に相談しているか

全体のうち「相談している」と回答した方が 59%と最も多く、次いで「相談していない」と回答した方が 37.3%でした。残りの 3.7%は「家族等が近くにいないため相談の必要がない」という結果でした。

2. 自宅の最寄りの避難場所及び避難所について場所を把握しているか

全体のうち「把握している」と回答した方が 87.5%を占めており、多くの方が避難場所や避難所について把握しているという結果でした。

3. 大規模災害時に避難所が開設される際、原則誰が主体となって避難所を運営すると認識しているか

全体では「自治会」と回答した方が 47.9%と最も多く、「市役所職員」と回答した方が 29.9%と次に多い結果でした。なお、「避難している住民」と回答した方は最も低く 22.2%だったものの、避難所は行政職員以外が運営するものと認識している方が全体の 7 割を占めるという結果でした。

大規模災害時の避難所運営は、自治会を含む避難者によって運営されることが望ましいとされています。今後も継続的に、避難所の運営に関する啓発活動を行っていく必要があることが伺えます。

4. 「フェーズフリー」という言葉について知っているか

「聞いたことがない」と回答した方が全体の 88.3%と最も多く、「聞いたことはあるが、人に説明することは難しい」と回答した方が 10%、「知っているし、人に説明することもできる」と回答した方は 1.7%にとどまりました。

5. 災害に備え、各家庭でどの程度の備蓄品を用意しておくのが望ましいか知っているか

「知っている」と回答した方が 61.8%、「知らない」と回答した方が 38.2%という結果でした。およそ 4 割が備蓄品の必要量を把握していないという結果であったことから、各家庭において備蓄品を用意することはもちろん、備蓄品の必要数についても啓発が必要であることが伺えます。

6. 「ローリングストック」という言葉について知っているか

全体のうち「知っているし、既に取り組んでいる」と回答した方が 35%、「聞いたことはあるが、取り組んではいない」と回答した方が 29.1%と、6 割以上が「ローリングストック」という言葉自体については認識しているという結果でした。

7. ローリングストックを含め、自宅で備蓄品（食料）の準備をしているか。また、準備をしていない場合はその理由は何か

最低限必要とされる「3日分程度の備蓄をしている」と回答した方が33.6%、「4～6日分程度の備蓄をしている」と回答した方が10.3%、理想とされている「7日以上分の備蓄をしている」と回答した方が5.1%にとどまりました。「1～2日分程度の備蓄をしている」と回答した方は36.2%、「備蓄をしていない」と回答した方は14.8%であり、全体として、各家庭における備蓄量は足りていないという状況が伺えます。

また、「備蓄をしていない」と回答した方のうち、最も多かった理由が「補充や入れ替えなど、管理する自信がないから」で、次いで「何を備蓄すればよいかわからないから」「面倒だから」という理由が続きました。

8. 備蓄食料に限らず、毛布や衛生用品などをまとめた非常持ち出し品を準備しているか。また、準備をしていない場合はその理由は何か

「準備している」と回答した方が46.4%、「準備をしていない」と回答した方が53.6%と、半数以上が「準備をしていない」という結果でした。

また、「準備をしていない」と回答した方のうち、最も多かった理由は「補充や入れ替えなど、管理する自信がないから」で、次いで「何を備蓄すればよいかわからないから」「面倒だから」という理由が続き、備蓄食料と同じ結果となりました。

9. 簡易トイレや凝固剤等、自宅における災害時のトイレ対策をしているか。また、対策をしていない場合はその理由は何か

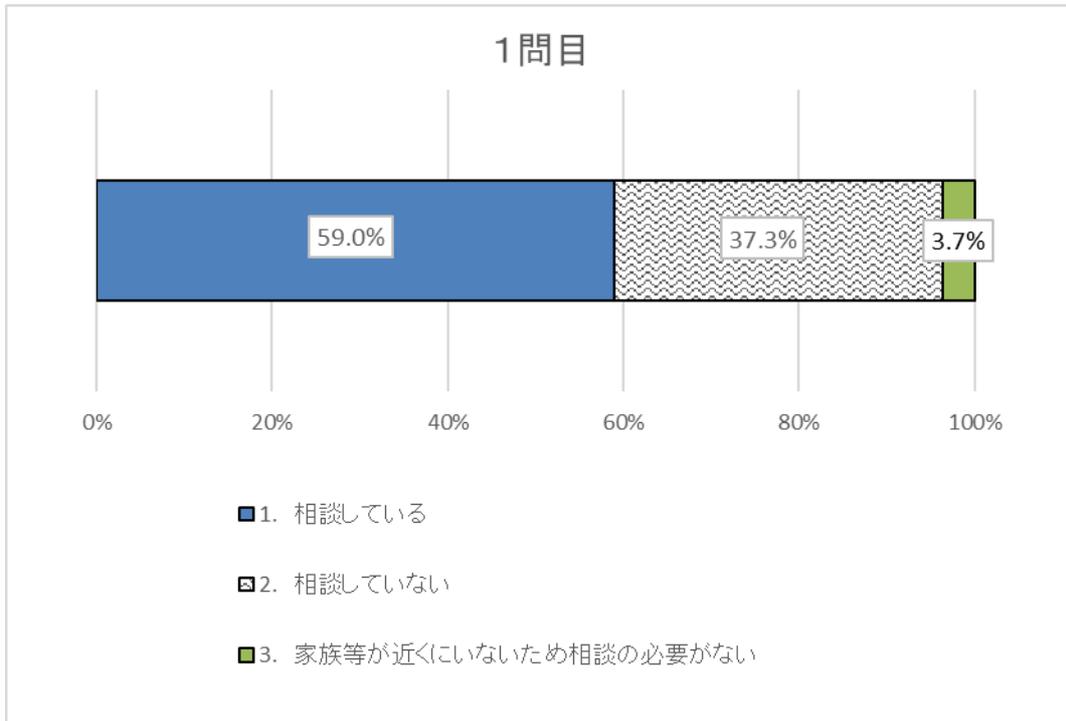
「対策をしている」と回答した方が42.2%、「対策をしていない」と回答した方が57.8%と、非常持ち出し品の準備に関する設問よりも、対策をしていない方の割合が微増となりました。

また、「対策をしていない」と回答した方のうち、最も多かった理由が「特に理由はない、わからない」であり、災害時にトイレ対策が必要であるという認識そのものが十分でないことが伺えます。なお、次いで多かった理由が「面倒だから」「費用が掛かるから」「どこで買えばよいかわからないから」となっており、備蓄食料や非常持ち出し品に関する設問とは異なる結果となりました。

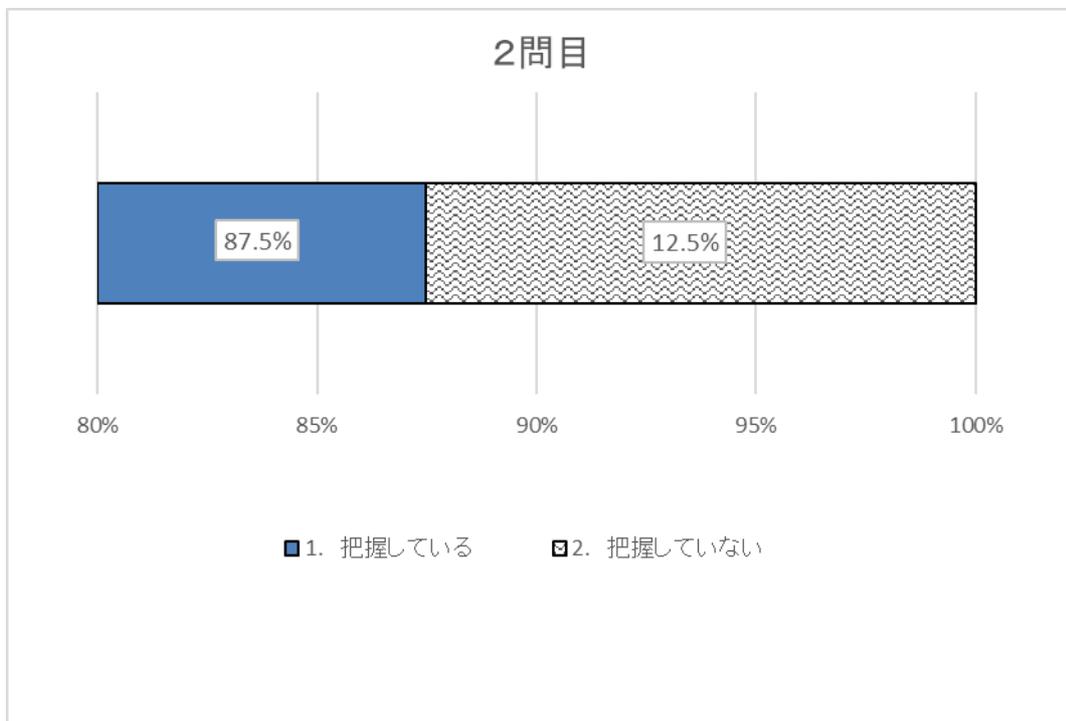
10. 豊橋市において令和5年4月1日より設けている、家具固定に関する補助制度の認識について

「知っているし、利用したことがある」と回答した方が3.1%、「知っているし、今後利用するつもりである」と回答した方が11.1%となりました。一方、「知らなかったが、今後利用してみたい」と回答した方が57%、「知らなかったし、今後利用するつもりはない」と回答した方が12.3%と、全体のおよそ7割が当補助制度について認識していないという結果でした。半数以上の方が当補助制度については知らなかったものの利用したいと回答しており、ニーズに対し現状の啓発が十分でないことが伺えます。

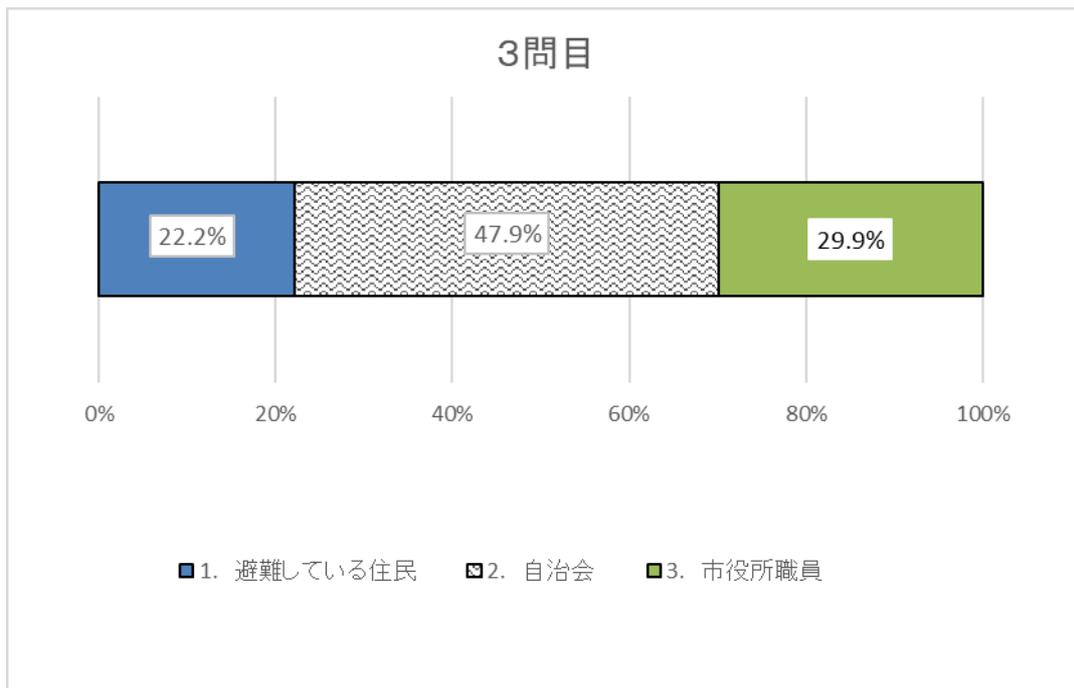
1 問目 災害が発生した際に、まず家族で避難する場所や集まる場所などについて、事前に家族等（同居人や近隣の親族を含む）で相談していますか。
【あてはまるものを1つ選択】（n=351）



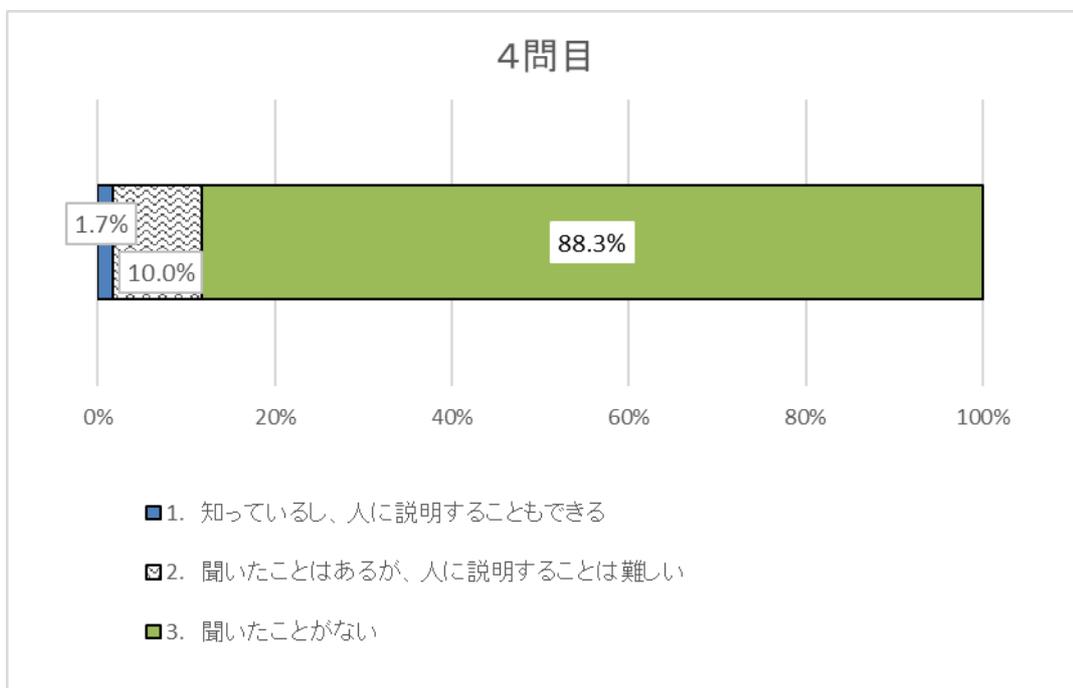
2 問目 ご自宅の最寄りの避難場所及び避難所について、場所を把握していますか。
【あてはまるものを1つ選択】（n=351）



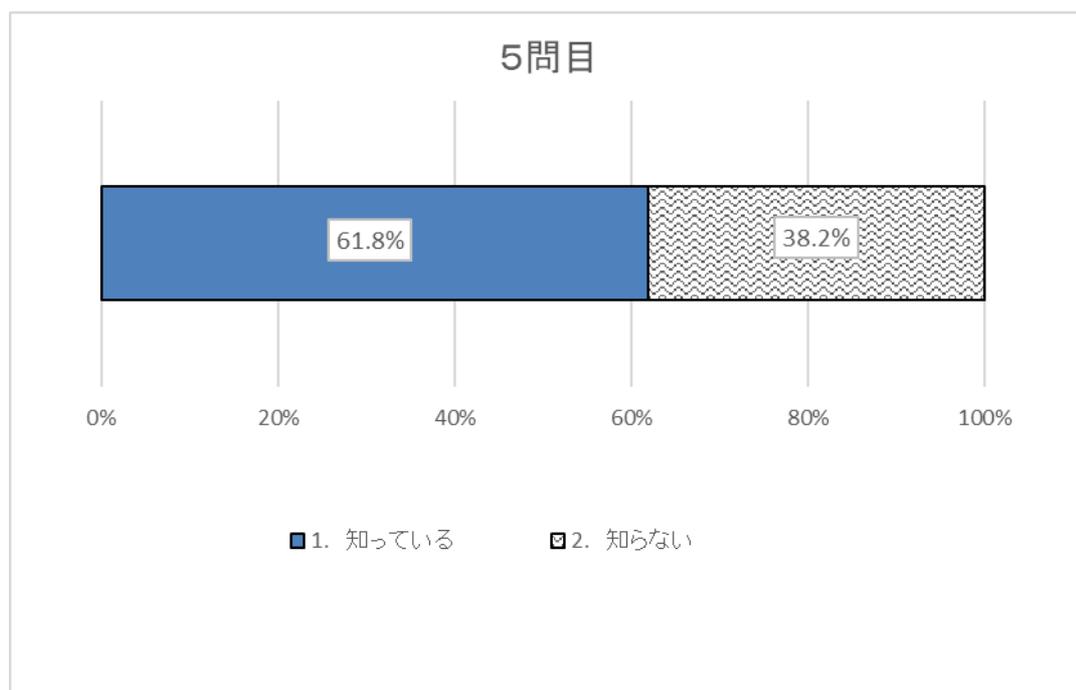
3 問目 大規模災害時に避難所が開設される際、原則として誰が主体となって避難所を運営すると認識していますか。【あてはまるものを1つ選択】(n=351)



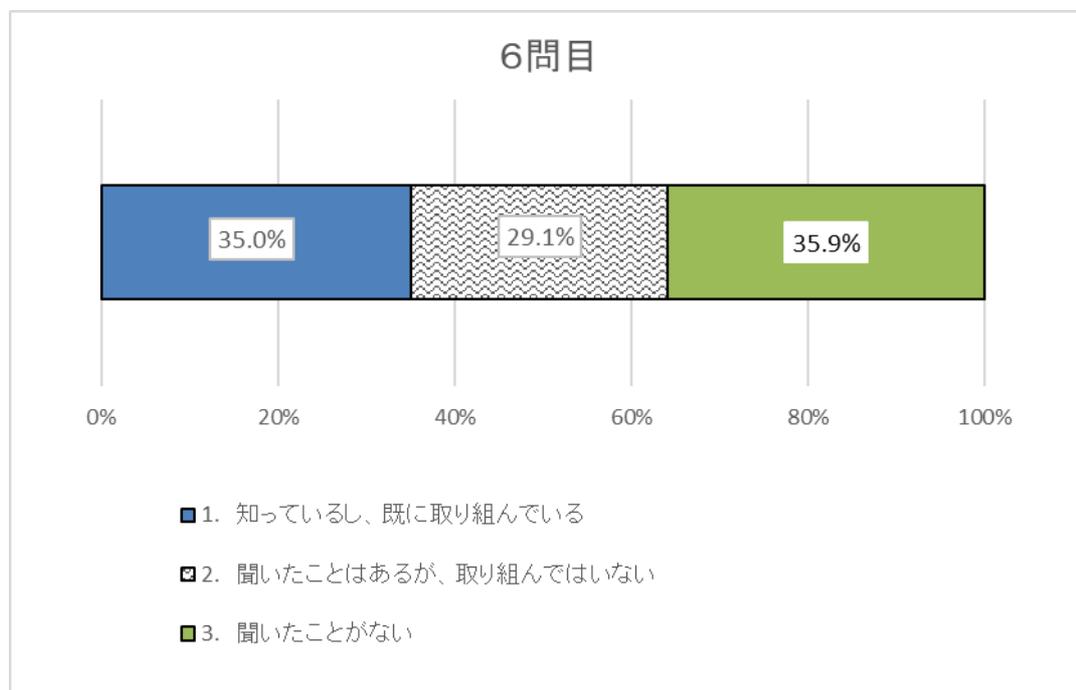
4 問目 「フェーズフリー」という言葉について知っていますか。【あてはまるものを1つ選択】(n=351)



5 問目 災害が発生した場合に備え、各家庭でどの程度の備蓄品を用意しておくのが望ましいか知っていますか。【あてはまるものを1つ選択】（n=351）

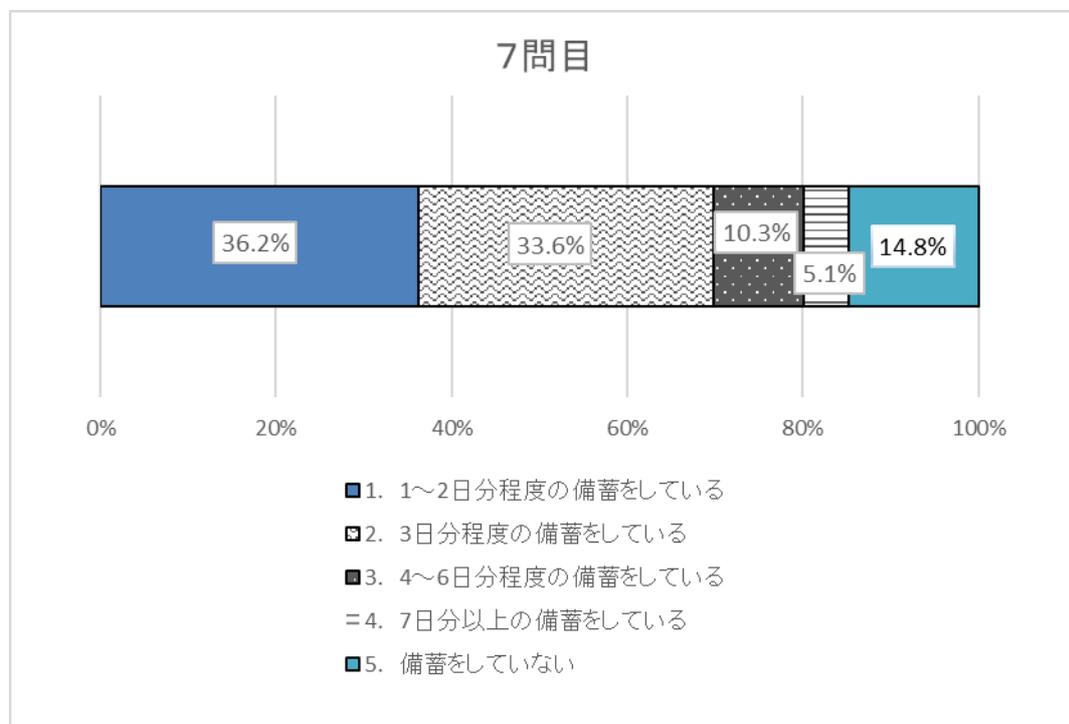


6 問目 「ローリングストック」という言葉について知っていますか。【あてはまるものを1つ選択】（n=351）

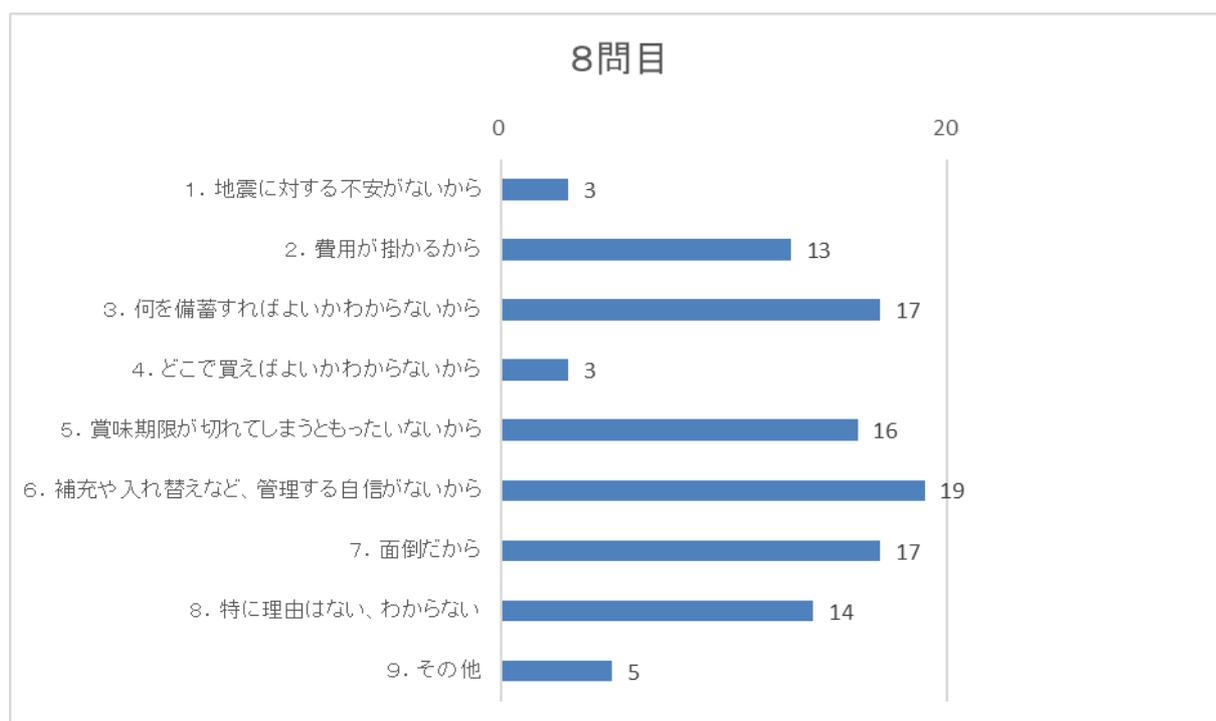


7 問目 「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

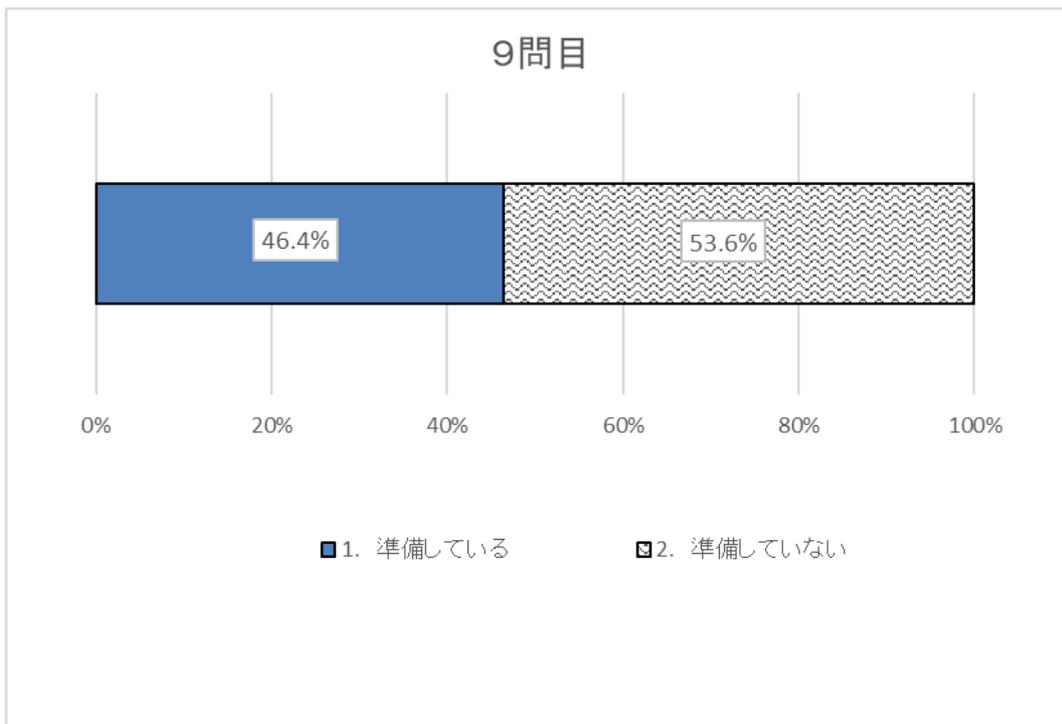
このローリングストックを含め、災害が発生した時に備え、ご自宅で備蓄品（食料）の準備をしていますか。【あてはまるものを1つ選択】（n=351）



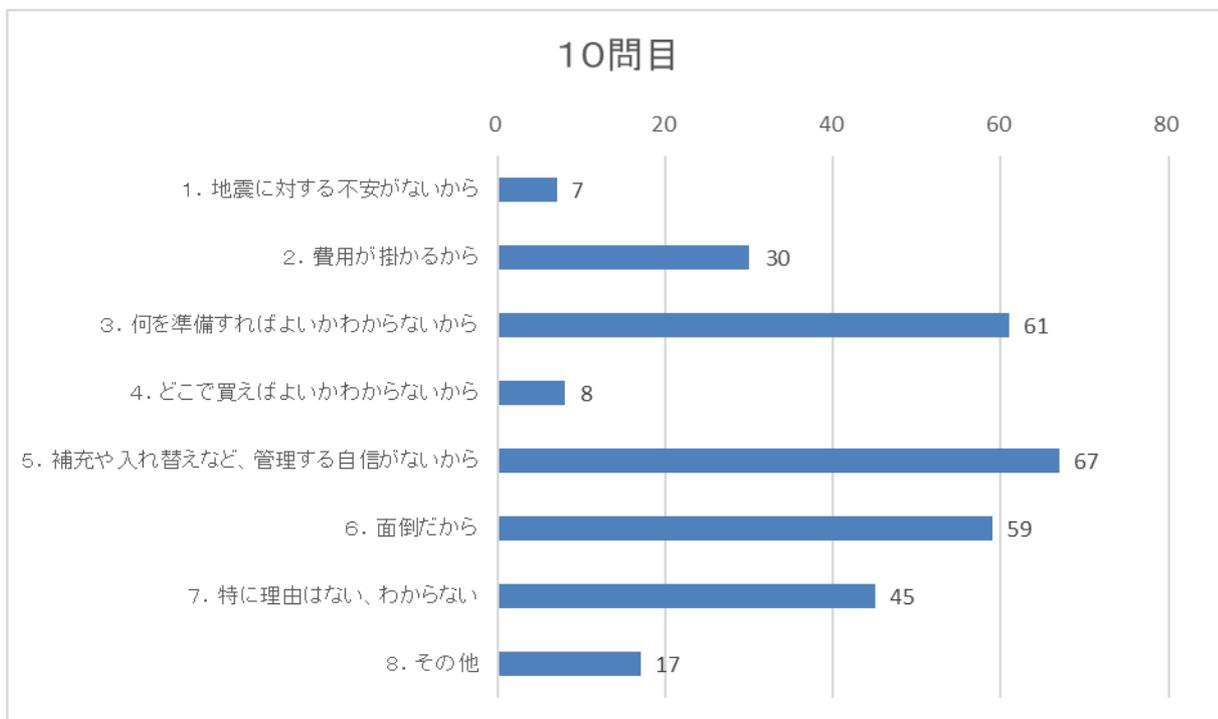
8 問目 7問目で「5. 備蓄をしていない」と回答した方にお聞きします。食料を備蓄していない理由は何ですか。【あてはまるものをすべて選択】



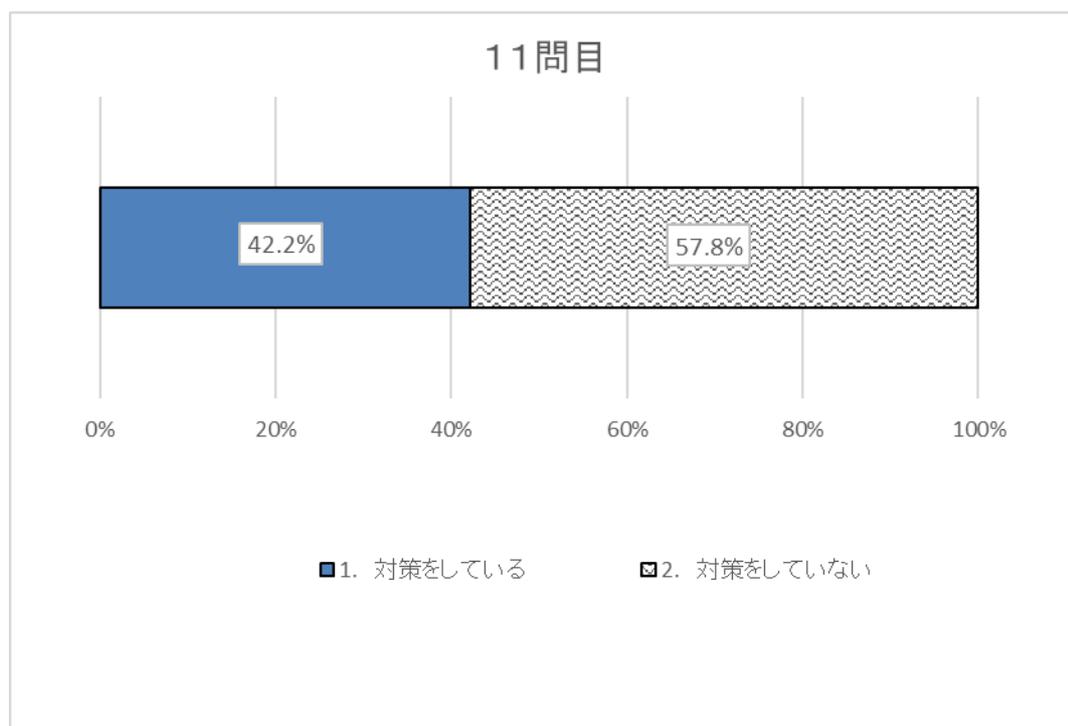
9 問目 備蓄食料に限らず、毛布やブランケット、衛生用品といったものをまとめた非常持ち出し品をご自宅で準備していますか。【あてはまるものを1つ選択】（n=351）



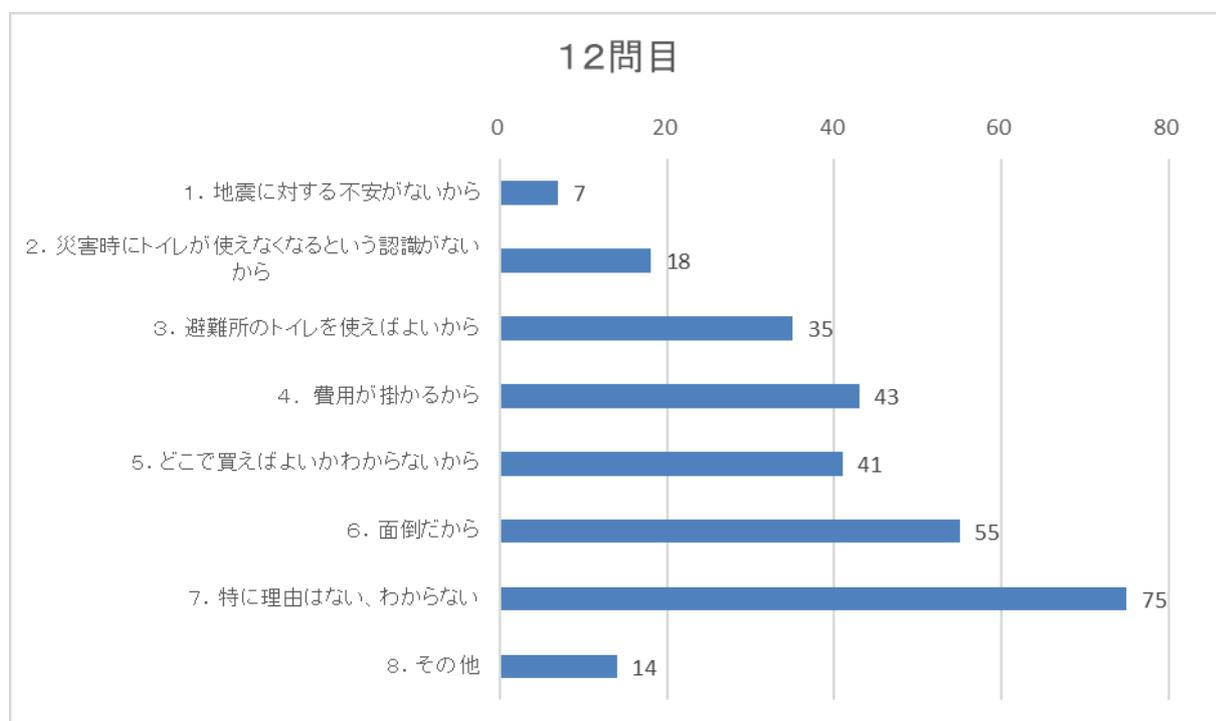
10 問目 9 問目で「2. 準備していない」と回答した方にお聞きします。非常持ち出し品を準備していない理由は何ですか。【あてはまるものをすべて選択】



11 問目 簡易トイレまたは凝固剤の準備など、ご自宅で災害時のトイレ対策をしていますか。【あてはまるものを1つ選択】（n=351）



12 問目 11問目で「2. 対策をしていない」と回答した方にお聞きします。トイレ対策をしていない理由は何ですか。【あてはまるものをすべて選択】



13 問目 地震が発生した際、建物の倒壊や固定しない家具による被害が多く発生しています。豊橋市では令和 5 年 4 月 1 日より、家具固定に関する補助制度を設けていますがご存知ですか。【あてはまるものを 1 つ選択】（n = 351）

